

四辻の齋嘉

四辻の齋嘉(よつじのさいか)

辻とは十字路のことを指しますが、ちょうど桐生新町の起点となった桐生天満宮近くの交差点の角にあり、古くから桐生の人々に親しまれてきた齋藤織物の経営者であった齋藤家の本宅の建物のことです(齋嘉とは当主・齋藤嘉平の略)。

(株)桐生再生では、地元桐生でも古くから有名なこの伝統的建造物を購入し、本社敷地内の象徴的建物として大切にしながら、桐生の産業観光の拠点として活用しています。

「(株)桐生再生公式ホームページ」より



低速電動コミュニティバス(ていそくでんどう)

産学官民の地域力を結集した脱温暖化に対する取り組みである「地域力による脱温暖化と未来の街－桐生の構築」プロジェクトの一翼を担い、(株)桐生再生ではEVバス(低速電動コミュニティバス)を4台所有、桐生市からの運行受託を受け、土曜日・日曜日・祝日に、主に桐生新町を中心とする旧市街を巡回するコースで、観光客や市民の足として実際の運行を行っています。

「(株)桐生再生公式ホームページ」より

